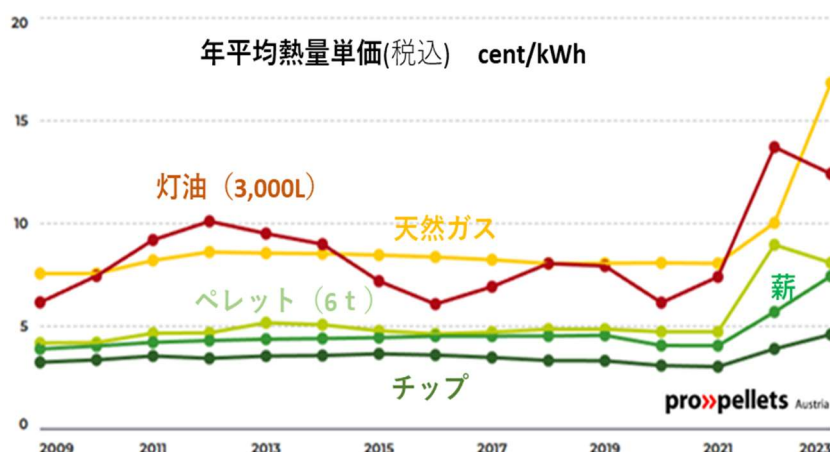


## 7. 木質バイオマス利活用の実態 (20) 20230614

### オーストリアでの燃料価格の比較

燃料の価格は燃料の種類、同じ燃料でも国や地域、また時期によって変化する。ただし利用に際しので経済的負担を比較する場合には、発熱量当たりの燃料価格、すなわち**熱量単価** (円, €/kg, L) が用いられる。その場合使用される発熱量は低位発熱量 LHV で、化石燃料については国毎に定められているが、木質燃料では使用時の水分率によって異なる。

図表 7.23 はオーストリアでの 2009 年から 2023 年 5 月までの天然ガス、heating oil (ここでは灯油と略す) および木質燃料 (ペレット、薪、チップ) の年平均熱量単価の推移を示したものである。この場合、灯油は 3000L、ペレットは 6t 発注時の税込み価格で、計算に用いた LHV は、灯油：10.0kWh/L、ペレット：4.8kWh/kg (水分率 M=10%)、薪：4.1kWh/kg (M=20%)、チップ：3.5kWh/kg (M=30%) である (他の報告書からの類推値)。



図表 7.23 オーストリアにおけるの家庭用燃料の熱量単価の推移<sup>1)</sup>

ここで注目される点を以下に示す。

- 1) 石油あるいはガス燃料と同様に木質燃料についても綿密な市場調査が行われ、価格が統計的に処理できる段階にあり、国の熱需要を支える重要な燃料として位置づけされているといえる。わが国とは木質燃料 (発電用を除く) に対する取り組み姿勢に大きな差がある。
- 2) いずれの燃料もとくに 2022 年のウクライナ危機に際して燃料価格に大きな変動が見られるが、一方平時 (2009~2020 年) の価格を見ると、灯油価格は時々の社会情勢に対応した変動が大きいものに対して、木質燃料のそれはいずれも変動が少なく、価格の安定した使いやすい燃料であることが分かる。
- 3) 木質燃料の熱量単価は、常に灯油や天然ガスよりも低い。この関係はウクライナ危機に際しても同様で、ウクライナ危機を含めた全期間の平均で、灯油の熱量単価に比べてチップ：41%、薪：54%およびペレット：61%と極めて割安である。このように木質燃料が化石燃料に比べて安い点がその普及を加速している理由の大きな原因といえよう。事実、過去のオーストリアでの調査で、木質燃料を選択する理由の 6 割が「安価であること」を挙げていたことを記憶している。

1) <https://www.propellets.at/en/wood-pellet-prices>